

ハイゴケ科

アオモリサナダゴケ

Taxiphyllum aomoriense (Besch.) Iwats.

兵庫県ランク… B

環境省ランク… -

■ 県内分布

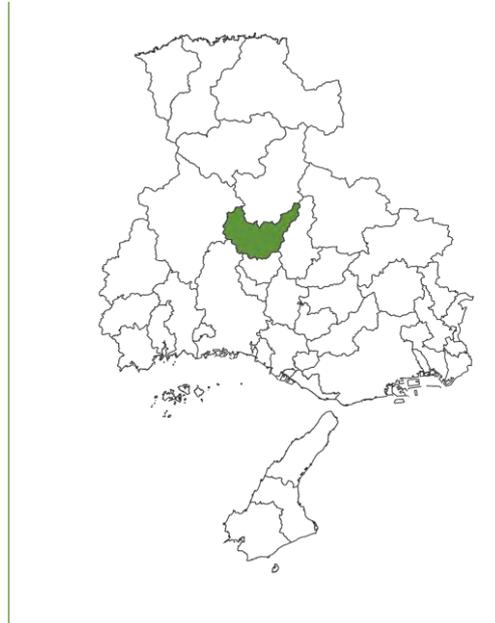
神河町

■ 国内分布

北海道、本州、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

旧和名:サナダゴケ

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

植物体は平たく、光沢がある。真田紐を想起させる植物体の形状が特徴的。茎は高い、やや羽状に平たく枝を出す。枝は葉が密に重なり合うため全体が扁平となる。枝葉は長さ1.5-2mm、卵形から長卵形で凹み、非相称、先は急に細く、ときに糸状に尖り、乾くと葉先は下に向く。葉縁には細かい歯がある。中肋は2叉して短い。葉身細胞は線形。翼部の細胞は方形から矩形、葉縁で4-6個が縦に並ぶ。雌雄異株。蒴柄は長さ9-12mm、平滑。蒴は卵形で傾き、非相称。蓋には嘴がある。木の根元、腐木上、岩上等に生育する。